

泌尿器科救急疾患への対応

21時まで診療 JR根岸駅前にあるクリニック



ねぎし泌尿器科内科
院長 高木 康行



泌尿器科救急疾患の症状

症状1:尿が出ない。

症状2:血尿が出た。

症状3:尿が近い。熱がある。

症状4:背中やお腹が痛い。

症状5:陰嚢が腫れた。陰嚢が痛い。

症状6:陰茎が腫れた。陰茎が痛い。

泌尿器科救急疾患の診察、検査

＜的確な診断 & 重症度の把握＞

- 1) 視診、触診、
体温、血圧、脈、呼吸回数、酸素飽和度
 - 2) 尿検査
 - 3) 超音波検査(エコー)、ドップラー検査(血流)
 - 4) レントゲン検査、排泄性尿路造影
 - 5) 採血検査
 - 6) CTやMRIが必要な場合は総合病院への紹介
- * 当クリニックでは1)－5)の対応が可能であり、受診患者さんの95%以上は当院での対応で十分であった。入院の必要性の有無を見逃さないことが肝心。



尿が出ない。その1

<鑑別診断>

前立腺肥大症

神経因性膀胱

(パーキンソン病、脊髄損傷)

腎不全

前立腺癌

膀胱癌

尿路結石

<重要な初期診察&検査>

下腹部の触診および超音波検査

尿が出ない。その2

<症例>

Q:65歳男性です。数年前から尿の勢いが弱くなり、最近では夜間に2-3回起きて排尿する事もめずらしくありませんでした。昨日町内会がありいつもより多めにお酒を飲んだところ、午前2時ごろから尿意があるのにおしっこが一滴もでません。朝方には下腹部が張ってきて少し苦しいです。そちらのクリニックで診てもらえますか？

A:大至急当院に受診してください。おそらく尿閉という状態です。もともと前立腺肥大症のある人が大量に飲酒をしたり、風邪薬やある種の抗ヒスタミン剤などを内服して発症することが多いようです。まずは超音波検査をして膀胱内に尿がたまっているか、腎臓が腫れているかを確認します。大量に尿が貯留している場合はカテーテルで導尿しなければなりません。緊急性がありますので、早めの受診をお願いします。

血尿が出た。その1

<鑑別診断>

1)膀胱炎、腎盂炎などの感染症

膀胱炎は熱が出ない。腎盂腎炎は熱が出る。

2)尿路結石

背部、腰部、腹部など石の移動によって痛む場所が変化。

3)腎炎、IgA腎症など

先行する上気道炎(かぜ症状)の有無。学校や職場の健診で蛋白尿や尿潜血陽性の既往。

3)ガン

特に膀胱癌が多い。腎癌などのcheckも必要。

痛みを伴わない血尿は要注意。

4)その他 腎動静脈奇形、良性腫瘍(腎血管筋脂肪腫)、腎嚢胞破裂、抗凝固薬(バファリン、ワーファリンなど)の内服歴。

血尿が出た。その2

<症例>

Q:30代の女性です。昨日から排尿時の痛みを自覚していました。以前にも膀胱炎になったことがあるので、水分をしっかりとって様子を見ていました。先ほど真っ赤なおしっこが出ました。まさに‘血そのもの’といった感じでした。泌尿器科に受診したほうが良いですよね？

A:すぐに当院に受診してください。目で見てわかる血尿を肉眼的血尿といいます。女性では膣や子宮などの性器出血を血尿と間違えることがありますが、肉眼的血尿は患者さんの約20%に生命を脅かす病気が存在するとされるので絶対放置しないでください。中高年であれば膀胱癌などの悪性腫瘍の鑑別診断が必要となります。

尿が近い。熱がある。その1

＜鑑別診断＞

急性前立腺炎(尿閉を伴う?)

急性腎盂腎炎(神経因性膀胱を伴う?)

＜バイタルサインは?＞

発熱の程度、血圧、脈は?

血圧低下例は敗血症に注意する。

21時まで診療 JR根岸駅前にあるクリニック



ねぎし
泌尿器科
内科

<http://www.negishi-clinic.net>

尿が近い。熱がある。その2

<症例>

Q:60歳の男性です。今まで定期的に前立腺の健診は受けており、軽度の肥大症はあるが、癌は無いと言われていました。昨日くらいから急に頻尿気味になってきており、今朝は寒気がしたため熱を測ったところ38.5度ありました。これって風邪ですか？

A:急に発症する排尿困難と発熱を認める場合、まず第一に考えなければいけないのが急性前立腺炎です。症状は肥大症に類似しますが症状が急に進行します。場合によってはおしっこが全くでなくなる尿閉という状態を招くこともあります。40度以上の発熱を認めることもあり、適切な治療が施されないと敗血症になることもあります。早めに泌尿器科を受診してください。点滴や内服など抗生物質による治療が中心になります。



背中やお腹が痛い。その1

<血尿あり>

泌尿器科的疾患

尿路結石

腎盂腎炎、膀胱炎

腎梗塞

比較的進行した膀胱癌や腎癌（初期は痛みの無い血尿が特徴）

etc

<血尿なし>

内科的疾患

虫垂炎、大腸憩室炎、膵炎、胆石、動脈瘤

etc

整形外科的疾患

椎間板ヘルニア

etc



背中やお腹が痛い。その2

＜症例＞

Q:40代男性です。日曜日の夕方に突然右の背中が痛くなりました。夜間休日診療所に受診し、おしっこの検査、超音波検査、レントゲン検査を受けました。診察医の話では血尿が出ているので尿管結石の可能性はあるがレントゲンにははっきりと石の陰が写っていないとのこと。月曜日に泌尿器科に受診してくださいと言われ、痛み止めの坐薬を渡されました。本当に私は尿管結石なのでしょうか？

A:腰背部痛と血尿の出現する代表的な病気が尿管結石です。そのほかに腎盂腎炎や腎癌、尿路上皮癌、腎梗塞が鑑別疾患に挙げられます。まずは超音波の検査をして腎臓の腫れ具合や膀胱の状態を画像的に確認することが必要です。レントゲンにははっきりと石の陰が写っていないとのことですが、高尿酸血症の患者さんに発症しやすい尿酸結石ではレントゲンに写らないことが多いです。全上部尿路結石で男性患者の約9%、女性では約4%が尿酸結石です。結石の存在部位を確認する手段としては、排泄性尿路造影検査(DIP, IVP)、CTなどが必要です。

陰嚢が腫れた。陰嚢が痛い。その1

<鑑別診断>

精巣上体炎

精索捻転(→救急)

精索静脈瘤

睾丸炎

ソケイヘルニア(カントンすれば→救急)

陰嚢水腫

etc



陰嚢が腫れた。陰嚢が痛い。その2

<症例>

Q:7歳の息子のことで相談です。明け方からおちんちんが痛いと言って泣いています。よく聞いてみるとおちんちんではなく玉の方を痛がっているようです。病院にいった方がよいですか？

A:子供がおちんちんを痛がるのは珍しくありません。亀頭包皮炎が悪化すれば、おしっこをするたびに泣き叫ぶこともあります。お母さん方はびっくりしますが、たいていの場合抗生物質を2-3日内服すれば治ります。実際診察をしてみないとはいっきりしませんが、玉の部分を痛がっていたり、反対側の玉より痛がっている玉のほうが上側にあたりすれば精索捻転症の可能性が否定できません。夜間や早朝であっても大至急入院施設の整った病院の泌尿器科に受診してください。精索捻転症は精子の通り道である精管と精巣を栄養する血管がねじれる病気です。6時間以上放置しておくと患側の精巣は壊死し摘出することになります。男性不妊の原因にもなりますので注意してください。



陰茎が腫れた。陰茎が痛い。その1

＜鑑別診断＞

カントン包茎

尿道炎

尿道結石

etc

21時まで診療 JR根岸駅前にあるクリニック



陰茎が腫れた。陰茎が痛い。その2

<症例>

- Q:20歳男性です。以前から包茎気味です。無理をすれば何とか皮をむくことができておりましたが、調子にのっていると元に戻らなくなりました。周囲の皮がものすごく腫れていて心配です。
- A:すぐ当院に受診してください。おそらくカントン包茎という状態です。狭い包皮口が陰茎の首を絞めている状態です。放置しておくとも血流障害のため陰茎先端が壊死することもあります。

症状が気になる方へ

今回は以上の内容でまとめさせていただきました。
以前より開業の泌尿器科クリニックも増えました。
なにか不安なことがございましたら、
気軽に泌尿器科の専門医に相談してみましよう。

最後までご覧いただき、ありがとうございます。

高木 康行

